

2026年3月17日

各位

会社名株式会社リボミック
代表者名代表取締役社長中村義一
(コード番号: 4591東証グロース)
問合せ先財務経理部長今井利哉
<https://www.ribomic.com/contact.php>

第三者割当による第15回新株予約権（行使価額修正条項付）及び第17回新株予約権（行使価額修正条項付）に係る資金使途の支出予定時期の変更に関するお知らせ

本日開催の取締役会において、2020年1月10日付「第三者割当による第15回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行及びファシリティ契約（行使停止指定条項）の締結に関するお知らせ」、2022年6月13日付「新株予約権の行使期間満了、特別利益の発生、資金使途、金額及び支出予定時期変更に関するお知らせ」、2024年2月20日付「第三者割当による第15回新株予約権（行使価額修正条項付）及び第16回新株予約権（行使価額修正条項付）に係る資金使途及び支出予定時期の変更に関するお知らせ」、及び2025年7月23日「第三者割当による第15回新株予約権（行使価額修正条項付）及び第16回新株予約権（行使価額修正条項付）に係る資金使途及び支出予定時期の変更に関するお知らせ」にて開示いたしました第15回新株予約権で調達した資金の支出予定時期、並びに2024年2月20日付「第三者割当による第17回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行及びファシリティ契約（行使停止指定条項付）の締結に関するお知らせ」にて開示いたしました第17回新株予約権で調達した資金の支出予定時期について、下記のとおり変更することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 資金使途変更の内容

(1) 変更の理由

①第15回新株予約権（行使価額修正条項付）

2020年1月10日付「第三者割当による第15回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行及びファシリティ契約（行使停止指定条項付）の締結に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、当社が中長期的に成長するために、既存パイプラインを継続的・重層的に拡大することを意図し、RBM-007を用いた医薬品開発、心不全に対する新薬であるRBM-003の研究開発、変形性関節症に対する新薬であるRBM-010の研究開発を目的とした第三者割当による第15回新株予約権の発行による資金調達を実施いたしました。

また、2022年6月13日付「新株予約権の行使期間満了、特別利益の発生、資金使途、金額及び支出予定時期変更に関するお知らせ」にて調達する資金の額、資金使途及び支出予定時期を変更する旨を開示いたしました。

そして、2024年2月20日付「第三者割当による第15回新株予約権（行使価額修正条項付）及び第16回新株予約権（行使価額修正条項付）に係る資金使途及び支出予定時期の変更に関するお知らせ」にて、アプタマーのモダリティ（治療手段）を生かした疾病領域等を考慮し、第15回新株予約権に充当する金額及び支出予定時期を変更いたしました。

その後、2025年7月23日付「第三者割当による第15回新株予約権（行使価額修正条項付）及び第16回新株予約権（行使価額修正条項付）に係る資金使途及び支出予定時期の変更に関するお知らせ」にて、当社開発パイプラインの開発状況を考慮し、第15回新株予約権に充当する金額及び支出予定時期を変更いたしました。

この度、軟骨無形成症を対象とした第2相臨床開発費用について、第2相臨床試験に含まれている長期投与試験に残額を充当するため、具体的な資金使途項目に充当する支出予定時期を変更いたしました。

②第17回新株予約権（行使価額修正条項付）

2025年2月20日付「第三者割当による第17回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行及びファシリティ契約（行使停止指定条項付）の締結に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、RBM-006のPVRを対象とした医薬品開発及び網膜疾患への適応拡大を目的として非臨床試験を進めており、マウス糖尿病網膜症モデルにおける眼底出血抑制（2026年1月14日公表）など、今後の開発に資する有益な研究成果が得られております。

これらの成果を踏まえ、今後の臨床試験を見据えたCMC開発及び毒性試験への移行を計画するとともに、引き続き必要なデータの取得を進めるため、開発全体の進捗を考慮し、資金の支出予定時期を変更いたしました。

(2) 変更内容（変更箇所の下線を付しております。）

・ 第15回新株予約権

(変更前)

	具体的な用途	充当予定額	支出予定時期
①	RBM-007の加齢黄斑変性症及び軟骨無形成症を対象とした臨床開発費用（臨床開発のための薬剤合成費用を含む）	3,239	2020年1月 ～ <u>2026年3月</u>
②	RBM-003の心不全を対象とした非臨床試験費用	40	2020年1月 ～2023年12月
③	RBM-010の変形性関節症を対象とした非臨床試験費用	80	2020年1月 ～2023年12月
④	新規技術開発費用（製剤化技術開発・導入他）	95	2020年8月 ～2024年3月
⑤	ドラッグデリバリーシステム用アダプターを中心とした探索研究費用	152	2025年6月 ～2027年3月
⑥	運転資金	1,880	2020年1月 ～2027年3月
合計		5,485	—

(変更後)

	具体的な用途	充当予定額	支出予定時期
①	RBM-007の加齢黄斑変性症及び軟骨無形成症を対象とした臨床開発費用（臨床開発のための薬剤合成費用を含む）	3,239 (3,066)	2020年1月 ～ <u>2026年4月</u>
②	RBM-003の心不全を対象とした非臨床試験費用	40 (40)	2020年1月 ～2023年12月
③	RBM-010の変形性関節症を対象とした非臨床試験費用	80 (80)	2020年1月 ～2023年12月
④	新規技術開発費用（製剤化技術開発・導入他）	95 (95)	2020年8月 ～2024年3月
⑤	ドラッグデリバリーシステム用アダプターを中心とした探索研究費用	152 (119)	2025年6月 ～2027年3月
⑥	運転資金	1,880 (1,530)	2020年1月 ～2027年3月
合計		5,485	—

(注) 上記の充当（予定）額欄の括弧書きの数値は2026年2月末時点における充当済金額となります。

・ 第17回新株予約権(行使価額修正条項付)

(変更前)

	具体的な用途	充当予定額	支出予定時期
①	RBM-006 (抗オートタキシン・アプタマー医薬に対するアプタマー医薬) の研究開発費用	650	2024年4月 ~ <u>2026年3月</u>
②	運転資金	44	2025年4月 ~2027年3月
合計		694	—

(変更後)

	具体的な用途	充当予定額	支出予定時期
①	RBM-006 (抗オートタキシン・アプタマー医薬に対するアプタマー医薬) の研究開発費用	650(166)	2024年4月 ~ <u>2027年3月</u>
②	運転資金	44(-)	2025年4月 ~2027年3月
合計		694	—

(注) 上記の充当(予定)額欄の括弧書きの数値は2026年2月末時点における充当済金額となります。

2. 業績に与える影響

本件による2026年3月期の業績に与える影響はございません。

以上